

令和5年度第4回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和6年1月22日（月）
午後2時30分から午後4時5分まで

場 所 茂原市役所1階 101会議室

出席者 委員 14名

深山委員（代理：加藤）、村川委員（代理：上原）、清水委員、成田委員、平見委員（代理：川島）、丸岡委員、梅田委員、白土委員、小林委員（代理：山口）、小松委員（代理：南）、大木委員、豊田委員、渡辺委員、金野委員

事務局 5名

都市計画課 積田課長、川崎補佐、野村係長、小関副主査、酒井主事

会議内容（進行：川崎補佐）

1 開会 午後2時30分

2 会長あいさつ

3 議事

（1）デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について

（2）令和5年地域公共交通確保維持改善事業費補助金における事業評価について

<質疑>

委 員：2頁市民バス「モバス」⑥今後の改善点で、需要の低いコースの廃止や新規のコースの創設とあるが、運転手不足などもあるが、利用者はいるため、廃止となった場合は市民への説明が必要となる。事業評価で今後廃止する予定がない中で、廃止との記載は検討した方が良いのではないか。また、回数乗車券の周知に努めるとの記載があるが、回数乗車券を共通にした後の利用状況を補足して説明してほしい。デマンド交通「ふれあい」目標の考え方について、利用促進に努めるとあるが、目標を達成している状況なので、乗合ということであれば乗合率を上げるなど、計画策定後に見直すことも検討してほしい。

事務局：市民バスのコース廃止の方向性については、具体的には北部コースとなる。交通計画（案）に記載の通り、北部コースを廃止しデマンドエリアに変更したいと考えている。廃止との記載方法については検討する。

会 長：廃止や新規コースの創設ともあるが、新規コースはあるのか。

事務局：案としては、茂原駅から出発し市の主要施設を回るコースを検討している。市役所、国道128号線のカインズホーム等の商業施設、長生病院を回るコースを検討している。

会 長：廃止との記載は市民が心配するので変更してほしい。

事務局：回数乗車券の利用状況については、デマンド交通は9割が回数券の利用、市民バスは2割から3割程度であるが、今後は統計を取って確認する。

会 長：データで示すことはできるのか。追記はできるか。

事務局：現金での支払いか回数券かについてはデータがあるため確認する。事業評価に記載したほうが良いか。

委 員：デマンド9割、市民バス2～3割は購入ではなく、利用者数か。

事務局：利用者数である。

委 員：周知を図る前にデマンドと市民バスの地域特性を見ることが方向性を探るために必要で利用状況は大事な情報となるため、利用状況の把握を確認してから、周知を図り、利用促進をした方がいいのではないか。

会 長：利用状況を盛り込むことは可能か。

事務局：事業評価の改善については、国で定められた様式となっているため調整する。今後の会議で参考資料として示していきたい。

会 長：貴重な意見のため、国の様式では変更しないが、今後の会議で示してもらいたい。

委 員：回数券の周知を図るとあるが、今まではどのような周知を行っているのか。

事務局：広報や交通マップに記載している。

会 長：バスには記載がないのか。小さいのではないか。広報への掲載方法も改善検討してほしい。

事務局：周知方法については検討する。デマンドの目標値について、新しい交通計画（案）に令和10年の目標値を盛り込んだ。今後交通計画（案）の目標値を事業評価に記載していくことになる。

委 員：事業の今後の改善点に交通計画に新たな目標を記載していることも記載したほうが良い。

事務局：記載をしたい。

会 長：本案について賛成の方は挙手をお願いします。全会一致ということで、設置要綱第7条第4項の規定により承認されたものとみなします。

(3) 茂原市地域公共交通計画(案)に係るパブリックコメントの結果及び茂原市地域公共交通計画(案)の報告について

<質疑>

委 員：年明けに JR のダイヤ改正を発表し、6時台に上総一ノ宮駅発の快速列車を1本復活した。通勤快速はなくなったが、快速となったため、新茂原駅・本納駅・永田駅にも止まり、蘇我駅まで各駅となるため、利用者は増えていくとみている。パブリックコメントに寄せられた意見等に対する市の考え方を公開する場合は変更してほしい。

事務局：市の考え方について回答はこれからホームページで公表する。会議で承認が下りた場合は速やかに公開したいと考えているため、公開する前に確認していただきたい。

会 長：速達性を維持したままとの記載方法は問題ないか。

事務局：速達性は蘇我駅から東京方面までは通勤快速を維持し、市内各駅の利便性を両立してほしいという内容となる。

委 員：対応区分と市の考え方となっているが、18番までは「頁のままにします」となっているが、途中から記載方法が「検討します」となっている。A・B・Cの対応区分の記載があり、Bは「意

見を反映しないで、案通り」とあるため、「頁のままとします」との記載は必要ない。Cはすでに盛り込まれているのか今後の参考とするのかの記載だけにして、シンプルにした方がよい。また、「目標に応じた事業の推進に当たって意見を参考にします」にした方が市民に説明しやすい。1番は理由の記載がないが、2番には詳しく記載がある。24番のB「このままとします」が計画のままなのか拡大しないでそのまま運行するのかわかりづらく誤解が生まれる。

会 長：ABC区分があるため、余計なコメントは省いた方がよい。「そのままとします」は失礼になるため記載方法を検討したほうがよい。

事務局：表現や記載方法をシンプルにし統一する。

委 員：大きい変更になると思うので、公開する前に委員に確認を取ってほしい。

事務局：委員に修正資料の確認を取ってから公開する。

委 員：パブリックコメントでバス事業者の運転手不足についての意見があったため参考として、千葉支局の取組みを紹介したい。国として運転手不足について喫緊の課題と認識しており2種免許の補助を行っている。また、各運行事業者に協力いただき、12月5日付で運転手の魅力発信に係るプレスリリースを行った。各自治体の公共交通会議に出席しているため、PRしていきたい。自治体担当者からも周知をお願いしたい。

会 長：最後に交通関係の最新の情報を皆様にお聞きしたい。

委 員：小湊鉄道労働組合としては、人不足もあるが長時間労働が難しくなっている。

委 員：小湊鉄道としては、長時間労働についてはダイヤ改正をした場合インターバルの確保（休憩時間の確保）、早朝・夜間が削られていくと考えているため理解いただきたい。

委 員：東日本旅客鉄道としては、12月に発表したダイヤ改正では千葉県・千葉市・茂原市等やお客様から意見をいただきました。ダイヤ改正は多岐にわたり、綿密な関係者との調整が必要となるため、短期間での変更は難しい部分もあったが、内房線・外房線で各1本快速列車が復活した。7時台の快速についても要望が出ているので、引き続き検討していきたい。ダイヤ改正を行うことで乗車機会を増やしていきたいため、3月16日の改正は予定通り実施する。特急については、全席指定席となっており、えきねっとで安く購入できるため、茂原市で行っているスマホ教室等と協力し、えきねっとの周知を図っていきたい。

委 員：千葉県交通計画課からのお知らせとなるが、運転者不足については、千葉県ホームページで運転者就職説明会について公表している。県も協力しながら取り組んでいきたいため、バス・タクシー事業者で公表できる事業があれば公表していく。

委 員：千葉運輸支局としては、整備士の不足もあるため、出前講座の取り組みも増やしていきたい。

会 長：以上の内容で賛成の方は挙手をお願いします。全会一致ということで、設置要綱第7条第4項の規定により承認されたものとみなします。

4 事務連絡

茂原市地域公共交通計画について
委員の任期について

5 その他

6 閉会 午後4時5分